

公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第107号 2018年6月13日 発行

広報誌 『COTOT』創刊に向けて

広報部担当理事 白山 武志(金沢西病院)

みなさんは、どのように作業療法士という仕事を知ったでしょうか。それぞれ違い、いろいろなきっかけがあったと思う。私は、高校の時に(20数年前)いろいろな資格が書かれた本のわずかな情報から知った。最近、仕事について書かれた本やインターネットから作業療法士の情報を得ることができる。しかし、働く中で「作業療法という仕事があるのですね」と何度も言われたことがある。「リハビリ」という言葉は知られているが、「作業療法」は、まだまだ認知度が低いように感じる。

今回、石川県で働く作業療法士の活動を県民のみなさんに知っていただくために、広報誌を発刊することになった。作業療法士のことをよく知らない方が、手にとって読んでいただけるような内容を目指している。第1号は、高校生をターゲットに石川県の作業療法士が働く場所や先輩の声など、より身近に

感じていただけるように制作している。作業療法士の認知度を上げ、学生の将来になりたい職業に選ばれるきっかけになればと思っている。

会員に向けたタイトル募集では、たくさんの応募の中、理事連絡会で「COTOT」(ことと)に決定した。素敵な親しみやすいタイトルとなり、大変うれしく思っている。今後、みなさんの活躍を多くの方に伝えていくために、年2回の広報誌発刊に向けて努めていきたい。



『COTOT (ことと)』の誕生History

石川県リハビリテーションセンター 上野 玲子

作業療法の知名度を高めたい…漠然と思いながら何もせず約20年間過ごしてきた。そんな時、石川県民向けの作業療法の広報誌創刊を知り、力になりたいと思い、「石川県民・OT・作業療法(士)とは何か…」と呪文のように唱え、丸2日間熟考した。

“こつとりする”や“こと一つとする”という石川県の方言は、『落ち着く・ちょうどよくなる・しっくりくる・豊かになる・足りなかったものが満たされて、いい具合になる』というニュアンスで使われる。私達作業療法士と関わることで、退院後の生活が落ち着いたり、心が落ち着いたり、その人にとってちょうどよい職場に就労できたり、しっくりくる人生の方向性を見つめることができたり、障害により失われたもの(=足りなかったもの)が満たされることで、生活や人生が豊かになったりと思うので、『ことと』というネーミングにした。また、“C”には

Can(できる)、Chance(可能性)、Citizen(住民)の意味があり、OTができることやOTの可能性を住民の皆様知っていただくための広報誌という意味を込め、一晩寝ながら考え、『COTOT』と表記することにした。

永年会員表彰とのW受賞は光栄である。今後益々作業療法や当会の発展に貢献したい。





「2018年度のスタートにあたって」

公益社団法人 石川県作業療法士会 会長 東川 哲朗
(金沢脳神経外科病院)

この春から「診療報酬」と「介護報酬」が改定され「第7次医療計画」、「第3期医療費適正化計画」、「第7期介護保険事業計画」がスタートした。会員は各現場でこれらの改定・計画に合わせて業務に取り掛かったところだと思う。

この年度に県士会は何を行うか。詳細については総会議案書をご覧頂きたいと思う。各部・委員会・支部が対応する研修企画などを設けてくれている。総会議案書にはその他に自動車運転への関わりや地域ケア会議への参加、災害対策、中高生への啓発事業、公益事業としての風船バレー大会などの事業計画を記してある。これらに県士会として、会員として取り組んでいくという決意である。

さて、問題は企画したは良いがどれだけの会員が関心を持ち、これらの研修会に参加し技術・知識を吸収してくれるかである。ここ数年の当会主催の研修会や学会の参加者は決して褒められたものではない。企画側が会員の意を汲んでいないか、会員が望ましくない集団になっているかのどちらかだと感じている。

私は、当会の代表理事(会長)であるので、各部・委員会の企画を了承している立場である。その立場から申せば、時流の流れや社会の動きを見て研修企画を立案頂いていると思っている。各種都道府県士会の集まりに行っても、他専門職の集まりに行っても研修会の参加者減少に関する現状は大きく違いが無く、

皆さん頭を悩めている。それに加えて、働き方改革が叫ばれる中、職場の上司・先輩が学習を勧めるというスタイルは段々行いにくくなっている。ますます難しい時代になったなと感じている。

私たちの仕事は、他の職業に比べて若い時代から自由裁量できる部分が大きい仕事だと思っている。対象者のプログラムを変更する事など、何の決裁も不要、今日から取り組んでみたいアプローチも自在に取り入れることが可能である。自由度が高いということは、逆に自己に対しての責任を強く持つことが必要である。勉強してもしなくても、アプローチを変更してもしなくてもそれが自由であるからこそ、自身で自己の業務を振り返り、過不足の点検が必要なのであろう。その方法は多種である。職場の同僚の仕事内容との比較、文献などの事例との比較、支部などで行われる事例検討会での報告、問題は意識を持ってこれらのイベントや機会に参加して取り組んでいるかどうかであると思う。

直近には県学会が控えている。日頃の取り組みを発表・意見交換する場である。自己点検の格好の機会になるかと思う。意識を強く、高く持った多くの会員の参加を期待している。

会員の中高生に対するキャリア教育支援の現状(調査結果から)

モデル事業担当理事 米田 貢(金沢大学)

将来、作業療法士を志す可能性のある石川県内の小中高生は123,636人である(小学生59,784人、中学生31,422人、高校生32,430人、H29年度石川県学校基本統計)。

今年度、当会は石川県内の小中高生を対象に、「作業療法士の働き方を伝える」教育支援プラットフォーム事業(モデル事業)を実施する。このモデル事業は、1)小学生の親子体験学習、2)中高生への職業講話と出張講義を県士会が相談窓口を設置するキャリア教育支援、3)高校生への職業選択の機会としてなごやか作業療法セミナーや会員施設での職場体験を支援するインターンシップが大きな柱である。また、これらモデル事業などの当会の取り組みを学校に周知するために、中学校には学校周辺施設の会員による訪問、高校には卒業生による母校訪問を実施する。

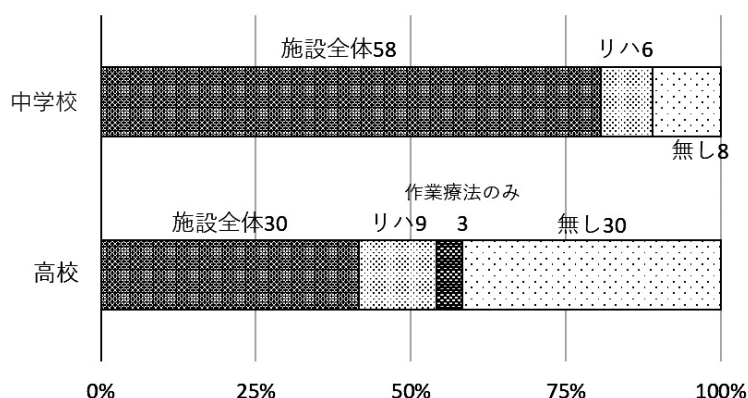
昨年度、モデル事業を実施するために、会員の皆様に現在の中高生の職場見学の受け入れ状況とモデル事業への協力調査を実施した。大変多くの会員の皆様から回答をいただいたことに、感謝申し上げますとともに、調査結果をまとめたので報告する。

回答は146/200施設(73%)から得られた。職場見学の受け入れは実績有りの回答数は72施

設(中学高校の両方またはどちらか)であった。その内訳は下のグラフにまとめた。職場見学の受け入れは、①施設全体の中でリハビリテーションの部門を見学する形式が中学校・高校ともに多いこと、②高校生の場合には受け入れの12施設がリハビリテーション・作業療法に特化したインターンシップの取り組みであったことが示された。一方、モデル事業においてインターンシップに協力可能と表明していただいた施設は59施設あった。さらに、中学校訪問が37施設で83人、高校の母校訪問が29施設で63人、小学生の親子体験が20施設で50人から協力可能な回答を得た。様々な事情がある中で多くの会員の皆様にご協力いただけることで、モデル事業の実施が可能となり、改めて感謝申し上げる。

モデル事業は、(社)日本作業療法士協会が公募した作業療法推進モデル事業に応募し採択されたものである。作業療法士を目指す人材の確保に関する取り組みは、今年度限りではなく、継続していくべき事業と考えている。来年度の事業報告の際には当会のキャリア教育支援の現状が発展し評価されるものになっていることを期待したい。

職場見学の受け入れ(H29年度調査)



公益社団法人 石川県作業療法士会第5回総会ならびに表彰式

5月19日、KKRホテル金沢において総会を開催した。総会に先立ち表彰式が行われ、石川県知事の代理でご臨席いただいた石川県健康福祉部参事の北野喜樹様より県知事表彰者の芦城クリニック村田明代さんに表彰状と記念品が授与された。総会は84名(委任状428名)の出席のもと行われ、第1号から第5号の議案が審議され賛成多数ですべての議案が可決された。

石川県知事表彰受賞のことば

特定医療法人社団勝木会 芦城クリニック 村田 明代

この度、思いもかけず石川県知事表彰の栄誉をいただき、去る5月19日(土)にKKRホテル金沢において、盛大な表彰式を挙げていただき、その上、過分なお言葉を賜り、深く感謝申し上げます。私は、昭和63年に作業療法士として働き始め、気が付けば30年が経っていました。平成13年から当会の理事の職責をいただき、通算13年間、当会の事業に参画し自分なりに作業療法の発展に微力を尽くしてまいりました。今回、その努力を認めていただき、図らずもこのような栄誉を得ましたことは、偏に、歴代会長をはじめとする理事の皆様、諸先輩方や会員の皆様、職場の上司や同僚の皆様のご指導や励まし、そして家族の理解と協力の賜物と心から感謝しております。

今回の栄誉を励みとして、これからも尚一層の研鑽を重ね、今後も作業療法及び当会の発展のため、決意を新たに精進してまいりたいと思います。今後とも、皆様からの一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



永年会員表彰者の皆様

今年は15名の方が表彰されました。

高橋 理恵 能美市健康福祉部我が事丸ごと推進課	越野伊甲子 敬愛病院
上野 玲子 石川県リハビリテーションセンター	田福 智幸 久藤総合病院
光田 雅人 訪看リハビリステーションいまひら	坂下美加代 小松市民病院
森 由紀子 白山市役所健康福祉部長寿介護課	三鶴加奈子 城北病院
宮下 早苗 小松こども医療福祉センター	丹羽まり子 まだら園
亀谷 寛子 篤豊会デイサービスセンター	石川 恵 七尾松原病院
星野 貴子 老健ホームいしかわ	川筋 恭子 自宅
鈴木 弘美 石川療育センター	



ご出席くださった永年会員表彰者のお写真
上段左から光田さん、田福さん、下段左から星野さん、坂下さん、上野さん、越野さん、高橋さん。

優秀論文表彰者

金沢大学医薬保健研究域保健学系 中嶋理帆

論文名、「Neural networks mediating high-level mentalizing in patients with right cerebral hemispheric gliomas.」

雑誌、Frontiers in Behavioral Neuroscience

金沢大学附属病院 麦井直樹

論文名、「全身性強皮症患者の調理動作の活動制限」

雑誌、作業療法ジャーナル



写真左から優秀論文表彰者の
中嶋さん、麦井さん

表彰祝賀会・新人歓迎会

第5回総会終了後、新入会の方41名、表彰者9名、他会員106名の参加のもと大変和やかに表彰祝賀会、新人歓迎会を開催した。今年度から広く県民向けに発刊される当会の広報誌「COTOT」の命名者である上野玲子さんより名前への思いなどをお話しいただいた。

永年会員表彰を受けた受賞者と新入会員を代表して一言ずついただいた。



歓迎会の様子

訪問リハビリステーションいまひら **光田 雅人**

この度は永年会員表彰を賜り有難うございます。社会人経験を経てOTRになり、50歳の節目を迎えた今年は、OTRとしての節目の年ともなりました。

祝賀会では「大」恩師である生田先生の名調子や、「複雑・簡単」の時代から地域で仕事をするようになった今に至る時間を懐かしく思い、また自分の時とは倍の人数になった新会員の皆さんのフレッシュな挨拶を頼もしく聞きました。

OTRとして20年の時間を過ごしても、ただ目の前の対象者の方に一生懸命で「OTとは？」なんて難しい問いに答えることは出来ませんが、いつかこの問いに自分なりの答えが出せるよう常に真摯に向き合っていきたいと思っています。

公立能登総合病院 **寺田 千紘**

新会員研修に参加し先生方から地域包括ケア、認知症、危機管理などの講義を受けました。また、今後作業療法士に求められることや先生方の経験談など、どの話もとても勉強になるものばかりでした。大変な仕事ですがとてもやりがいのある仕事に就いたのだと感じました。

新人歓迎会ではとても緊張しましたが、多くの先輩方から興味深い話を聴かせて頂き濃い時間を過ごすことができました。作業療法士という仕事に誇りを持ち、探求心を絶やさず日々勉強している先輩の姿に心打たれ先輩方のような作業療法士になれるよう努力していきたいです。

新入会員 紹介(5月14日現在)

経験者

県立高松病院

横井 安芸

安田内科病院

西田 睦

特別養護老人ホーム あつとほ一む若葉

敵田 友恵

専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー

竹内 佑

松原病院

小倉 由貴絵

公立能登総合病院

木下 佳織

あつぷる

鳥畠 美風

青山彩光苑

林 悠里恵

金沢大学医薬保健研究域 保健学系

砂原 伸行

自宅

海藤 恵里子

新卒者

金沢脳神経外科病院

蟹由 理紗子

金沢子ども医療福祉センター

松本 愛花

能美市立病院

中野 行賢

恵寿総合病院

上野 漱介

藤井 遥

高松 早紀

谷口 真央

石川県済生会金沢病院

片山 千華

山下 裕貴

加賀田 昂佑

訪問看護・リハビリステーション「リハス」

里出 昌輝

グリーン・ポート小松

真柄 奈々

城北病院

山形 麻里子

東 映実花

西野 聖香

七尾病院

清水 麻代

公立松任石川中央病院

石野 優奈

芳珠記念病院

葛村 駿希

レイクサイド木場

忠澤 瑞季

医王病院

升田 明子

やわたメディカルセンター

古川 香

ボニール根上苑

山本 好恵

浅ノ川総合病院

堀田 菜月

柳瀬 加奈

須藤 祥太

岩城 沙耶可

久藤総合病院

斉藤 翔

河北中央病院

懸高 佑真

石川病院

佐藤 佑輔

桜ヶ丘病院

河口 司

まだら園

原野 翔

金沢医科大学病院

鈴ヶ嶺 文乃

仲田 泰知

金沢赤十字病院

荻輪 紗奈

ことほぎミツ屋 デイサービス

中根 理佐

国立病院機構 医王病院

村上 和輝

公立能登総合病院

寺田 千紘

岡部病院

宮田 しずか

館 仁志

ろうけん桜並木

松田 有梨沙

(公社)石川県作業療法士会 研究相談

学術部担当理事 麦井 直樹 (金沢大学附属病院)

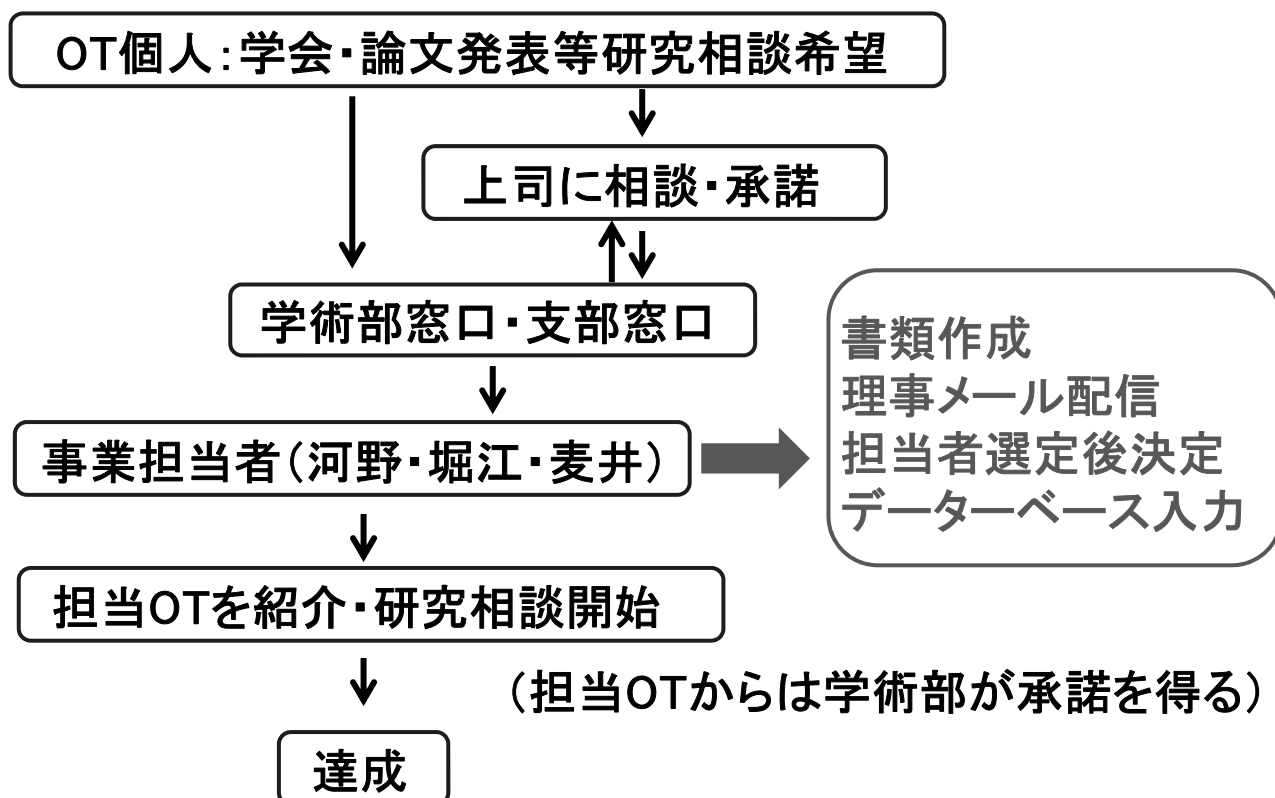
石川県作業療法士会はこれまで、2度の全国学会開催をはじめ、学術活動も他県に引けをとらない活動を続けてきた印象があった。しかし最近の日本作業療法学会の演題では、すっかり石川県の名前が目立たなくなった。その傾向は、東海北陸作業療法学会や石川県作業療法学会での演題の少なさや参加者の少なさにも表れている。作業療法士は、日々新しいことが発信されている医療の中で、その大切な役割を担っていく職種であり、自己研鑽は欠かすことができない。我々一人一人の学会発表や論文は、同じ悩みを持つ仲間や後輩、将来作業療法士になり、日本のリハビリテーションを支える人たちの手助けになる大切な

宝である。

公益社団法人石川県作業療法士会の会員も800名を超えた平成30年、今一度学術面でも元気な石川県を発信したいと思い立ち上がった企画である。図に示すように、研究や事例報告を県士会の先輩がサポートしていくシステムである。少しのアドバイスでも、学会発表にいたるまでの支援でも、個々に応じてすすめていくつもりである。興味をもった会員の方は、是非お声をかけていただけたらと思う。

連絡先は、学術部(gakujyutsu@ishikawa-ot.com)になる。6月24日に開催される第27回石川県作業療法学会の当日もブースを立ち上げる。

相談の流れ



6月24日は県学会の日！

第27回石川県作業療法学会 学会長 明福真理子 (能美市介護老人保健施設はまなすの丘)

今年も県学会の季節がやってきた。とはいっても、県学会が6月開催に変更されてからまだ2年目の季節である。若い会員の皆さんにはなじみが薄いだろうが、以前は8月末あるいは9月初めに県学会を開催していた。私自身、子どもが夏休みの宿題に取り組む横で学会発表の準備をしていた思い出がある。開催時期の前倒しに伴ない演題が集まるか危惧していたが、取り越し苦労となった。県士会員各位の熱意に感謝申し上げる。あとは当日の盛り上がりである。

働き始めて数年の頃は、学会はお祭りのようだった。学び・交流することが楽しかった。10年を過ぎた頃からは、自分の日々の取り組みを見てもらい指導してもらう貴重な機会になった。経験年数、職場職域を越えて多くの

意見を交わすことが刺激的になった。今でも学生時代のバイザーや新人時代の諸先輩方から声をかけられると緊張するが、同窓会気分も味わえる県学会の雰囲気は格別である。

事前参加登録は、残念ながらこのニュースを手にする頃に締め切られている。だが、当日参加も可能である。6月24日(日) 8時半～金沢大学十全講堂に是非お越しいただき、石川県の作業療法の最前線を一緒に学んでいただきたいと強く願う。特別講演は11時～『支える側が支えられる時～認知症の母が教えてくれたこと～』と題して詩人の藤川幸之助氏にお話しいただく。

多くの県士会員の皆さまのお越しを心からお待ち申し上げます。よろしくお願いします。



扉

認知症の母を
老人ホームに入れた。

藤川幸之助

認知症の老人たちの中で
静かに座って私を見つめる母が
涙の向こう側にぼんやり見えた。
私が帰ろうとすると
何も分るはずもない母が
私の手をぎゅっとつかんだ。
そしてどこまでもどこまでも
私の後をついてきた。

私がホームから帰ってしまうと
私が出ていった重い扉の前に
母はびつたりとくっついて
ずっとその扉を見つめているんだと聞いた。

それでも
母を老人ホームに入れたまま
私は帰る。
母にとつては重い重い扉を
私はひょいと開けて
また今日も帰る。

『満月の夜、母を施設に置いて』 (中央法規)

写真提供：能美市

平成29年度 公益社団法人石川県作業療法士会

◆◆◆第4回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：平成30年 3月 13日(火) 19時～19時40分 西泉事務所
2. 出席理事：東川、寺田、岡田、麦井、安本、大西、村田、渡邊、寺尾、高多、川上、米田、白山、桂、中森
(欠席理事：小池、明福、河野)
出席監事：後出雅敏、進藤浩美 (山田幸司 ノチデ会計)
3. 議事 正会員数：775名(平成30年3月13日現在)
 - 第1号議案 平成30年度事業計画について会長より説明。承認
 - 第2号議案 平成30年度予算について安本財務担当理事より説明。承認
 - 第3号議案 講師謝金並びに交通費旅費支給規程、会議費及び日当費支給規程の改訂について安本財務担当理事より説明。承認
 - 第4号議案 倫理ガイドラインについて進藤日本OT協会倫理相談窓口石川県担当より報告。

平成29年度 公益社団法人石川県作業療法士会

◆◆◆第6回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：平成30年3月13日(火) 19時40分～21時10分 西泉事務所
2. 出席：東川、寺田、岡田、麦井、安本、大西、村田、渡邊、寺尾、高多、川上、米田、白山、桂、中森(理事15名)、堀江、苗山、永井(支部長3名)、山本恭、山下(書記2名)
3. 議事 第1号議案 各部・委員会・各支部事業経過報告
【学術部】学術的相談窓口について堀江部長より説明。
【広報部】広報誌の内容等について白山広報担当理事より説明。第1号発刊は7月頃予定。

平成30年度 公益社団法人石川県作業療法士会

◆◆◆第1回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：平成30年4月17日(火) 19時～19時30分 西泉事務所
2. 出席理事：東川、寺田、岡田、麦井、安本、大西、小池、村田、明福、寺尾、高多、川上、米田、白山、中森
(欠席理事：渡邊、河野、桂)
出席監事：後出雅敏、進藤浩美 (山田幸司 ノチデ会計)
3. 議事 正会員数：761名(平成30年3月31日現在)
 - 強制退会者：3名 承認
 - 第1号議案 平成29年度事業報告について会長より報告。承認
 - 第2号議案 平成29年度決算について安本財務担当理事より報告。承認
 - 第3号議案 平成30年度監査報告について後出監事より報告。

平成30年度 公益社団法人石川県作業療法士会

◆◆◆第1回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：平成30年4月17日(火) 19時35分～21時 西泉事務所
2. 出席：東川、寺田、岡田、麦井、安本、大西、小池、村田、明福、寺尾、高多、川上、米田、白山、中森(理事15名)、堀江、西村、永井(支部長3名)、山本恭、山下(書記2名)
3. 議事 第1号議案 各部・委員会・各支部事業経過報告
【教育部】第33回日本リウマチのリハビリ研究会学術集会について小池理事より日本OT協会生涯教育制度への登録申請を提案。承認
【広報部】事業報告定期便について、士会ニュースと合わせて会員への事業報告の機会拡大を図る趣旨と内容を米田広報担当理事より提案。承認
広報誌表題について多数の候補の中から多数決にて『COTOT (ことっと)』に決定。表題採用者には総会で表彰を行う。
第2号議案 今後の研修会企画について、分野を超えた企画設定を会長より提案。

インフォメーション 研修案内

金沢西支部 第1回事例検討会

日時 6月20日(水) 19:00～
場所 金沢脳神経外科病院2階第2研修室

発達障害支援部 発達障害児支援の為にスキルアップ研修

日時 7月8日(日) 9:00～16:00
場所 金沢こども医療福祉センター

能登支部 第1回事例検討会

日時 6月29日(金) 18:30～
場所 恵寿鳩ヶ丘病院1階リハ室

加賀支部 第1回MTDLP事例検討会

日時 7月18日(水) 18:30～
場所 森田病院

社会福祉部 OTに必要な動作のみかたと 環境調整のポイント ～排泄編～

日時 6月30日(土) 13:30～17:00
場所 金沢福祉用具情報プラザ

教育部 MTDLP基礎研修

日時 7月22日(日) 9:00～17:10
場所 石川県リハビリテーションセンター

金沢西支部 第1回MTDLP事例検討会

日時 7月4日(水) 19:00～
場所 金沢赤十字病院

石川県リーダー研修会

日時 8月18日(土) 時間未定
場所 金沢大学附属病院
各病院・施設から1名以上の参加をお願いします。

K I N J O

UNIVERSITY

きみに、見せたい未来がある。



金城大学
社会福祉学部
社会福祉学科
子ども福祉学科
平成30(2018)年4月開設予定
(設置計画中、教職課程認定申請中)

医療健康学部
理学療法学科
作業療法学科

看護学部
看護学科

大学院
総合リハビリテーション学専攻
総合リハビリテーション学専攻(修士課程)

金城大学 医療健康学部 理学療法学科・作業療法学科

- ◆平成28年度 理学療法士国家試験、作業療法士国家試験合格率100%
- ◆理学療法学科 第一期卒業生から7年連続100%の高い就職実績!
- ◆作業療法学科 第一期生(平成29年3月卒業)の就職率は100%を達成!



金城大学

入試
広報部

TEL: 0120-276-150 E-mail: nyushi@kinjo.ac.jp
TEL: 076-276-1744 FAX: 076-276-5319
http://www.kinjo.ac.jp/ku/



在宅ならではの
深い関わりが持てる!!

「退院後の人生を支えたい」
そんな想いで介護の業界に入
りました。お客様とじっくり
関われる今の環境にやりがい
を感じています。

ディサービス 太田のリゾート白山
管理者(作業療法士) 中富 博久

↓こちらの事業所で募集中です↓

金沢市、野々市市、白山市の
◆ディサービス ◆訪問リハビリ(有料老人ホーム内勤務)

正社員 月給…270,000円～、時間…8:30～17:30 または 9:00～18:00
休日…週休2日(シフト制)、賞与年2回、社会保険完備、退職金あり

パート 時給…2,000円～、時間…1日2時間以上
勤務…1ヶ月の勤務回数店相談、労災あり ※時間に応じて雇用保険・社会保険加入

共通 昇給年1回、交通費あり、各種資格手当、日/祝出勤手当、OJT制度



株式会社 **サンウェルズ** 金沢市、白石市を中心に16ヶ所の介護施設を運営しています。
＜お問合せ＞ 株式会社サンウェルズ本社 人事部：東(ひがし)
☎076-272-8982

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人財団董仙会
学校法人 金城学園

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
学校法人阿弥陀寺教育学園
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団生会えんやま健康クリニック
医療法人社団千木福久会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団中田内科病院
医療法人社団洋和会
医療法人社団輪生会

医療法人積仁会
金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
公益社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団博洋会
医療法人社団持木会柳田温泉病院
医療法人社団博友会
医療法人社団光仁会
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
株式会社半田
株式会社ヤマシタコーポレーション金沢営業所
セントラルメディカル株式会社
三星自動車販売株式会社
株式会社メディパック
株式会社サンウェルズ

D会員

医療法人社団あいずみクリニック
有限会社さわか金沢
東洋羽毛北信越販売株式会社

会員動向

石川県作業療法士会会員 809名(平成30年5月現在)
認定作業療法士 29名(平成30年5月現在)
専門作業療法士 福祉用具2名 高次脳機能障害1名 認知症1名 手外科1名(平成30年5月現在)



編集後記

総会で「地域包括ケア」についてのお話があった。恥ずかしながら高齢者の分野の言葉だと勝手に解釈していた。それは全くの誤解で、それに限らず、全ての領域の障がいを持つ方への関わりで、どの分野でも作業療法ができるようにとお話があり、私自身大変危機感を感じた。作業療法士が地域でますます認知され活躍できるよう、メジャーリーグで活躍する大谷選手のように二刀流、いや三刀流ぐらいのつもりで研鑽しなければと改めて感じたところである。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：米田貢、明福真理子、白山武志、酒野直樹、横川菜美、杉浦有子、藤田隆司、川口朋子、
寺井利夫、太田哲生、岩田望、網谷郁美、西谷早紀、越仲共子、山梨珠美、南朱音、上野玲子

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社